

奉協
仕力



勤誠
勉実

創立52年



秩父地域唯一の商業高校

埼玉県立 皆野高等学校

minano high school



HPアドレス <http://www.minano-h.spec.ed.jp> TEL 0494-62-2076

生徒へのメッセージから抜粋

「敗者のメンタリティ」から学ぼう！

校長 青木孝夫

先月、本校の誇る偉大な先輩 新井涼平選手がロンドンの世界選手権に連続出場しました。今後も世界一を狙ってほしいと願っています。またこの夏は、世界水泳や野球と何かと、スポーツの夏という感じでした。それぞれの大会期間中、テレビや新聞は、メダリストたちのことを繰り返し報道していました。それぞれの代表として、感動しましたし、称賛を送りたいと思います。

しかし、私の心が揺さぶられたのは、敗者となった直後にアスリートたちがみせる精神力の強さです。敗者とはいえ、メダリストと全く変わらない努力を続けてきたのに、自分に突き付けられているのは受け入れがたい残酷な結果だという現実。インタビューという名でスポットライトを浴び、衆人の前へと引っ張り出されることの辛さ。これは、普通の人間だったら絶対に耐えられないことです。ほとんどの人間は、失敗の直後は失敗を他のせいにして、言い訳を考えたりするものです。普通の人間だったら、誰もいない場所で涙を流しながらひっそりとしていたいのではないでしょうか。しかしアスリートは違いました。ほとんど例外なく、涙を必死でこらえながらカメラの前に立ち、潔い敗北の弁と、次なるチャレンジへの気持ちを述べていました。

ここがアスリートたちの凄いところです。人生において、最も大きな失望の中に突き落とされた直後に、言い訳せずに潔く自分の敗北を認め、次の目標に向かって、また長い旅を続ける決意を述べるのは、並大抵の精神力の強さではありません。しかし、考えてみれば、挫折と敗北を知らないアスリートなどいないのです。今回の勝者たちも、過去に挫折と敗北を素直に認め、それと勇気をもって向き合ってきたからこそ勝者になれたのです。もしも「勝者のメンタリティ」というものがあるならば、それは挫折を再挑戦へのバネに変えられる精神力ではないでしょうか。勝者となる者は再挑戦へのエネルギーに変えていく逞しさと、未来のどこかにある勝利を信じて、ひたすら努力を重ねていけるひたむきさを持っています。この精神力があったからこそ、メダリストたちは勝利を掴むことができたのではないのでしょうか。

さて、今学期は学校行事が目白押しです。クラスの団結力と、個人個人の責任感が問われます。責任と信頼の意味を考え、皆さんが学校行事を通じて、社会性や協調性を高めてくれることを願っています。それでは、2学期のみなさんの健闘を祈ります。

秋の交通安全運動 お守り配布

9月21日(木)秋の全国交通安全運動初日、3年生が交通安全啓発を兼ねて作製したハート型のお守りを皆野寄居有料道路料金所で配布しました。県道路公社と秩父警察との連携により実施しました。生徒たちはドライバーの皆さんへ「安全運転をお願いします」と声を掛けていました。



皆野町選挙管理委員会 模擬選挙

9月26日(火)皆野町選挙管理委員会委員長様をはじめ3名の方のご指導をいただき主権者教育として模擬選挙を校内で実施しました。10月には衆議院議員選挙が実施されるとの報道もあり、生徒たちは真剣にお話を伺いました。実際に選挙で使用する投票箱や記載台なども借用し模擬選挙を体験しました。



夏休み学童保育所でボランティア

夏休み中、本校の希望生徒が皆野学童保育所、国神学童保育所で保育ボランティアに取り組みました。高校生の都合が良い日に、個人でもグループでも保育所へ行き小学生たちと一緒に遊んだり学習指導をするという形で6名の生徒が合わせて29日間参加しました。



秩父宮杯自転車競走大会に協力

9月17日(日)第65回秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会に、本校1年生全員が競技補助役員として協力しました。本校では、社会貢献活動の一環として毎年大会運営に協力しています。降雨の中、カップを着て秩父地域で開催される全国規模の自転車大会で「おもてなし」の心で参加選手に対応しました。

